



カラー60分
頒価 ¥2,000

DVDで蘇る 映画「日独裁判官物語」

一部を除いて、絶望的と言われる日本の裁判官と比べて、ドイツの裁判官たちが何と素晴らしいことか!!

女性として最初の長官である連邦憲法裁判所のリンバッハさんは、映画の中で「憲法裁判所は何よりもすぐれた、市民のための裁判所だと言われています。すべての市民は国家権力により被害を受けたときに容易く訴えることができます。」「創立以来のこの47年間において、連邦憲法裁判所では500件以上の違憲判決を出してきました。」と誇らしげに語っています。

映画「日独裁判官物語」を観て、「市民のための司法」に変えよう

映画「日独裁判官物語」は1999年に制作され、日本各地で上映会などがもたれ、その後、高額でしたがVHSも作られ、多くの学者や弁護士たちが相当数購入しました。そこには、ドイツのたくさんの裁判官たちが、「市民に開かれた、親切的な裁判所」を目指し、法廷で市民が裁判官に話しやすいように、法壇をなくすなどしたのを始め、裁判官が市民と交流し、市民集会や、中には原発反対のデモに参加するなど、様々な努力をしていることが、よく分かります。

さらにドイツでは、1997年当時、2万999人の裁判官が存在し、実に日本の10倍近いうえに、最近はとくに女性の裁判官の割合が増え、5割に近づいており、「市民に身近で、親しみやすい存在」であることが理解されます。

日本では多くの裁判官が、文字通り権力に迎合して、市民のまともな訴えを退け、冤罪被害者など救済すべき社会的弱者を切り捨てるなど、権威主義的な実態があります。これを根本的に変革するために、映画「日独裁判官物語」を観ることをお勧めします。

FAX. 03-5367-5431

- 送料無料でお届けいたします。
- 代金は、到着後、同封の郵便振込用紙でお振込みをお願いいたします。

購入
申込書

ふりがな
お名前

数量

本

ご住所
(送り先)

〒

電話

E-mail

日本民主法律家協会

160-0022 東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2・3F

TEL 03-5367-5430 FAX 03-5367-5431

Mail info@jdla.jp

HP <http://www.jdla.jp/>